

## 四人制審判の取決め事項

### 1. ポジショニング

- ① 無走者・走者三塁のとき……二塁塁審は、二塁ベースの後方に位置する。
- ② 走者一塁、二塁、一・二塁、一・三塁、二・三塁、満塁のとき……二塁塁審は、一・二塁間または二・三塁間の内側に位置する。（内野手が前進守備の場合は外側に位置する）。
- ③ 一塁塁審、三塁塁審はいずれの場合もファウルラインの外側に立つ。

### 2. 外野への打球の責任範囲

外野への打球を追う審判は、角度をとりながら落下点に近づき、必ず止まって判定する。

#### A. 二塁塁審が外側に位置した場合

- ① 左翼手より向かって左側の打球……三塁塁審。
- ② 左翼手正面の前後から右翼手正面の前後までの間の打球……二塁塁審。
- ③ 右翼手から向かって右側の打球……一塁塁審。

#### B. 二塁塁審が内側に位置した場合……外野への打球は追わない。

- ① 中堅手より向かって左側の打球……三塁塁審。
- ② 中堅手正面の前後より向かって右側の打球……一塁塁審。

#### C. 外野への打球を追った塁審は打球を判定した後その場に留まり、担当していた塁は他の審判に任せる。カバーに行った審判は、その塁の審判が戻るまで、その塁を離れてはいけない。

### 3. 球審の動き

- ① 無走者、走者一塁の場合は一塁または三塁をカバーする。
- ② 走者が二塁または三塁のスコアリングポジションにいるときは本塁に留まる。

### 4. トラブルボール

次のトラブルボールの場合、審判はできるだけ近づいて判定する。

- ① 右翼線または左翼線寄りの打球。
- ② 外野手が前進して地面すれすれで捕る打球。
- ③ 外野手が背走するフェンス際の打球。
- ④ 野手が集まる打球。